ODA
那覇身協だより

110号

発行 社会福祉法人 沖縄県身体障害者福祉協会
編集 一般社団法人 那覇市身体障害者福祉協会
〒902-0061 那覇市古島 2−14−4 那覇市障がい者福祉センター
電話(098)885-0420(FAX共通)
頒価20円は会費に含みます

年末芸能交流会
開催のお知らせ

恒例の年末芸能交流会を開催します。
ホテルのおいしいお食事をいただきながら、華やかな舞台発表を鑑賞し、楽しい時間を過ごしましょう。お楽しみ抽選会もあります。皆さんのご参加お待ちしています。

と　き：平成30年**12**月**15**日（土）正午～午後２時
ところ：**パシフィックホテル沖縄　2階「万座の間」**
（那覇市西３－６－１　TEL 868－5162）
チケット：**1,000**円　（お食事代）
問合せ：０９８－８８５－０４２０（FAX兼）
＊駐車場に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。

※チケットがお求めになれない方は、事務局までお電話かＦＡＸにて12月12日（水）までにお申込みください。申込みがない方については、お弁当の準備ができませんのでご了承ください。

〈目次〉

■年末芸能交流会のお知らせ ・・・・・・・・・・・ Ｐ１
■那覇市障がい者福祉センター ・・・・・・・・・ Ｐ２
■障害者就労支援センターさわやか ・・・・・ Ｐ３
■障がい者相談支援センターすこやか ・・・ Ｐ４
■みんなの声 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ５
■県スポ報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ６
■全スポ報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ７
■観月会報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ８
■美術展作品募集 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ９
■ピクニックのお知らせ ・・・・・・・・・・・・・ Ｐ10
■編集後記・会費納入のお知らせ ・・・・・・ Ｐ10

ホームページアドレス　http://nahashin.jp/

「身協だより」は、“赤い羽根共同募金”の一部助成を受けて発行しています。

★那覇市障がい者福祉センター★

センターでピクニックに行ってきました！

去る１０月１８日（木）、１１月６日（火）の２日間センターでピクニック（美ら海水族館）へ行ってきました。まず本部にあるマリンピアザオキナワで昼食をとりました。めずらしいジーマミー豆腐の天ぷらがあったり、ジューシーがおかわりできたりと、とても美味しかったよ～の声が多く聞こえました。そして待ちに待った美ら海水族館へ。イノーではヒトデやナマコをさわり形や感触を楽しみました。サンゴの海の水槽は屋根がなく自然の光が差し込み黄色や青・ピンクの魚達がキラキラして綺麗でした。またタイミング良くエサやりの場面を見ることができ、小さな口でパクパクする姿が可愛かったです。参加者が一番楽しみにしていた巨大水槽黒潮の海では世界最大の魚ジンベイザメやナンヨウマンタが雄大に泳いでおり、「すごいね～やっぱり大きいな～」「ジンベイの顔やさしいね」など熱心に見入りました。深海のコーナーでは水深６００ｍの水温を手でふれ、冷たく深い海の世界を感じ驚きました。観光客も多く館内の移動が大変な時もありましたが、思い思いに水槽の前に立ち止まり楽しまれていました。参加者からは簡単に来れる場所ではないのでピクニックで来ることができ良かった！との声があがりました。

「身協だより」は、“赤い羽根共同募金”の一部助成を受けて発行しています。

障害者就労支援センター さわやか

全国アビリンピック開会式！

去る 11/2（金）に、第 38 回全国アビリンピックの開会式がありました。

アビリンピックは障がいのある技能者の職業能力向上や雇用促進を目的とした大会です。沖縄県で開催されるのは初めてということで、さわやかも課外活動の一環として、支援員５人、訓練生６人で開会式に参加してきました。

会場はすごい人で、熱気があふれていました。エイサーで会場が盛り上がったあと、各都道府県代表選手の紹介が行われました。この日の為に練習を重ねてきたであろう選手の顔は自信に満ち溢れており、さわやかの利用者も刺激を受けたのではないでしょうか。

みんなで開会式の雰囲気を味わえてとてもよかったです。来年度のアビリンピック地方大会にはぜひ、さわやかからも出場して、全国を目指していただきたいと思います。

送迎実施中です！

送迎ご希望の方はお気軽にご相談下さい♪
☎ 098-833-7755

新職員が入りました！

東江　悠　さん
（支援員）

今年の８月にさわやかの支援員として入職しました。この職に就いてまだ３か月しか経っていませんが、所長をはじめ支援員のみなさんから学んでおります。利用者様と同様に日々奮闘しております。１日１つ学ぶことを心掛け、立派な支援員を目指し頑張っていきたいです。

仲里恵美利さん
（支援員）

初めまして。11 月からさわやかで支援員として勤務させていただくことになりました。私自身、学びながらではありますが、職員や利用者さんと共に成長していきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いします。

就職決定者

上間　椿　さん
（介護補助）

おじいちゃん･おばぁちゃんと一緒に、物作りなどをして楽しみながら働きたいです！

利用者募集中！

あなたの「働きたい！」「働き続けたい！」を支援します。

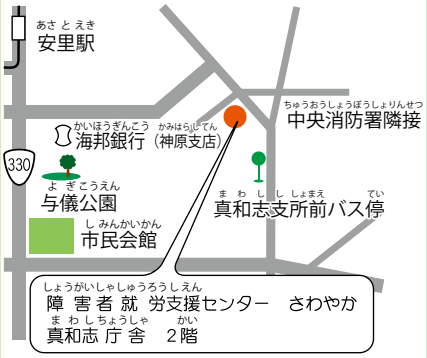
★就職したいけど･･･
・自分に合う仕事がわからない　・やりたい仕事が見つからない

★就職しているけど･･･
・仕事を続けていけるか不安　・転職を考えている

★就職に向けて･･･
・相談や訓練・実習をしたい

そうお考えの方は、ぜひ一度さわやかに
お電話もしくは来所見学にいらして下さい！**相談は無料**です。

ＴＥＬ：８３３-７７５５　　ＦＡＸ：８３３-７７８５



「身協だより」は、“赤い羽根共同募金”の一部助成を受けて発行しています。

障がい者相談支援センター　すこやか

平成 30 年度

ふ れ あ い ♥ ランチパーティー ♥

（独身交流会）

平成 31 年 2 月 24 日（日）
開催決定

平成最後だよ!!　全員集合

場　所：ノボテル沖縄那覇（旧都ホテル）
（那覇市松川 40 番地）(098-887-1111)
受　付：11：30
時　間：12：00 ～ 14：00
参加費：男性 2,000 円
女性 1,000 円

募集期間：平成 31 年 1 月 11 日（金）
～平成 31 年 2 月 12 日（火）

一般社団法人　那覇市身体障害者福祉協会
障がい者相談支援センターすこやか
所在地：那覇市古島２丁目 14-4
連絡先：(098)884-3872
携　帯：080-2704-4426
担当者：知花・安里・金城・石盛

お気軽に相談してください

訪問による相談　電話による相談　来所による相談

◆受付時間／月～金（午前９時～午後５時）
※来所相談の方は電話でご予約下さい。
◆受付場所／（一社）那覇市身体障害者福祉協会
障がい者相談支援センターすこやか
◆問い合わせ／**８８４－３８７２**（FAX 兼用）
◆相談員／知花とも子、安里旬江、金城祐美、石盛かおり
※相談は無料で個人の秘密は固く守ります。

障害別に相談が受けられます。

肢体障害　大城一晋　連絡先 090-9782-7162	視覚障害　仲川福俊　連絡先 ８３２－３４５３
肢体障害　上里直子　連絡先 ８３６－６０６９	腎臓障害　宮城　輝　連絡先 ８８７－０２０１
心臓障害　宮城愛子　連絡先 ８８５－９４４４	

「身協だより」は、“赤い羽根共同募金”の一部助成を受けて発行しています。

みんなの声

北海道マラソンに参加して

視覚部
大久保　篤志

去る八月二十六日に開催された、北海道マラソン（視覚障害者の部門）へ出場しました。大会当日は、出走者は約二一、０００人。気温は二十二℃でした。スタート開始四十分前からランナーは並び始めていました。

号砲の後、僕たち五分十七秒後にスタートラインを踏み、ゆっくりとスタートしました。後方からスタートしましたが、周りには結構走り込んでいるランナーが多いと感じました。

しばらく走っていると滋賀県で伴走をしていると言う方が、僕たちのサポートで後ろからついてきてくれました。そのため、僕は二人の伴走者を得ることができ、他のランナーとぶつかる事が減りました。

中間地点から折り返して走っているランナーに、沖縄の知り合いが走っていて、心強い声援を受け、こちらも声を出してすれ違い、元気をもらいました。

今回の大会では、走り初めのうちは「ナイスラン」「がんばれ」などの沿道から応援が多かったのですが、四十km手前になると「まだ間に合うぞ」（あきらめるな）などの応援に変わり、もう制限時間が残り時間は無いことを悟りました。

しかし、足はスローモーションの様にしか動きません。その時、伴走者の「金色の完走メダル欲しいんだよなー」っと、ぼそっとつぶやきが聞こえました。気持ちを奮い立たせながら、なんとかゴール！！走り抜けた感動と制限時間内にゴールできた喜びを、伴走の方と分かち合いました。

さて。最後になりましたが、私がフルマラソンを完走出来るのは、伴走して頂ける方がいるから出来るものであり、伴走者も、サポートをするために日々練習して頂いたおかげで生み出した汗の結晶でもあります。いろんな方々や家族の支えがあり、僕は僕のやりたい事を楽しみ続けることができるのだと、感謝の気持ちでいっぱいです。

ナカヤ創立三十周年を迎えて

肢体部
屋富祖　忠治

「自分たちに適する職場を自分たちで創ろう！」と、下肢障害者のみで発足したナカヤは、本当に多くの関係機関や関係者の方々のおかげで、今年で三十周年を迎えることが出来ました。これまでのご芳情に深く感謝申し上げます。

発足当時、「全員下肢障害なのだから、座っての仕事なら全員でできる」と、沖縄の花を活かした観光土産品の製作や木工・手工芸品を主力に、県内のバザーや展示会にも積極的に参加し、活動の周知に励んできました。現在も続いている『テレホンジャンクヤード（琉球新報掲載のリサイクル情報）』は、☎対応の業務だからこそ、障害の特性を生かせる仕事として、那覇身協から業務を受けることができた一つでもあります。三十年の間に、事業形態も小規模作業所からＮＰＯ法人へ移行し、現在は地域活動支援センター事業、就労継続支援Ｂ型事業を展開し、身体・知的・精神の障害がある方々に就労支援を行っております。国の政策伴い、障害者に対する就労環境は三十年前と大きく変わりました。しかし、ナカヤのモットー、設立当初同様、「それぞれの障害の特性を生かし、創意工夫を凝らしながら働くことで、社会や地域に貢献できる喜びを分かち合う」ということを、これからも大切にしていく所存でございます。どうか今後とも、ご指導・ご支援を賜りますようお願い申しあげます。

「身協だより」は、“赤い羽根共同募金”の一部助成を受けて発行しています。

第54回沖縄県身体障害者スポーツ大会 報告
メダルラッシュ！！

今年は台風接近のため、陸上競技の本大会は中止になり残念でしたが、本大会前に別開催日の競技が行われました。那覇市福祉地区選手の大活躍を報告いたします。

９月１日（土）、行われたフライングディスク大会（場所：沖縄県総合運動公園レクドーム）は、今年は初めての別開催日。**参加選手は 16 名**。屋外と違って屋内での開催でしたが、風通りはあまりなく、少し蒸し暑さを感じました。午前中に、ディスクの距離を競う、ディスタンスの部門。**ディスタンスの成績は、金５個・銀１個・銅２個。**　５mと７mとに置いた輪っかの中にディスクを入れる、**アキュラシーの成績は、金２個・銅３個。**

９月１５日（土）には、卓球・水泳競技大会（場所：沖縄県総合運動公園アリーナ・サブアリーナ・プール）。一般卓球は参加選手５名で、**金メダル１個、銅メダル３個**。盲人卓球は参加選手７名で**銅メダル２個**、水泳は参加選手５名で、**金メダル４個、銀メダル１個**でした。

９月２３日（日）はアーチェリー競技大会（場所：沖縄鏡が丘特別支援学校アーチェリー競技場）参加選手５名全員が、**金メダル５個**を獲得しました。

「身協だより」は、“赤い羽根共同募金”の一部助成を受けて発行しています。

第18回全国障害者スポーツ大会in福井
大活躍！

去る 10 月 13 日～ 15 日、福井県にて第 18 回全国障害者スポーツ大会が開催されました。沖縄県代表として、那覇市福祉地区から、池原安栄さん、那覇市障がい者福祉センター利用者の、照屋和美さん、仲嵩さよ子さん、坂口健二さん、が参加いたしました。

４人ともベストをつくし、見事メダルを獲得しました。

10月14日　琉球新報

3投 美しく弧描く
ジャベリック 仲嵩、初の栄冠

一投に集中し女子ジャベリックスローを制した仲嵩さよ子＝13日、福井市の9・98スタジアム

○…初出場の全国大会。仲嵩さよ子は9㍍07を記録し栄冠を手にした。仲嵩は女子ジャベリックスローの最終組、緊張の表情を浮かべながら入場。競技が始まると一転、「力とコントロールのバランスを意識した。遠くへ飛べ、という思いも乗せた」と勢いよく投げ、3投とも美しい弧を描いた。

仲嵩は12年前にくも膜下出血を患い左上半身にまひが残る。自身の障がいと向き合いながら、ゲートボールやソフトボール投げなどさまざまな競技に挑戦し続けてきた。

今月は自身の誕生日。金メダルを胸に「自分への最高のご褒美になった」とほほ笑んだ。

10月15日　沖縄タイムス

坂口 悔しい銀2個

砲丸投げで銀メダルを獲得した坂口健二＝福井県の9・98スタジアム（石川亮太撮影）

デフリンピック空手・組手の日本代表でもある坂口健二(50)が砲丸投げとジャベリックスローで銀メダルを獲得した。砲丸投げは自己ベストの15㍍51と大会記録両方の更新を目標としたが「記録は14㍍27。納得はできない」と残念がった。

一方であったジャベリックスローは、気温の低下や強風の影響もあって本領を発揮できなかった。それでも、「練習不足もあったので2位に入れたのはよかったかな」と前向きに捉えた。

東京生まれの横浜育ち。高校時代から続ける空手の練習を目的に、昨年7月に空手の聖地、沖縄に移住してきた。スノーボードも得意で、2月に岩手であった全国ろうあ者冬季体育大会に県勢として初出場し、アルペンスノーボードの回転と大回転で3位に入賞するなどスポーツ万能。「これからしっかり練習して、来年には砲丸投げで記録を更新し、金メダルを取りたい。沖縄の選手として大会記録に名前を残したい」と意気込んだ。（石川亮太）

10月15日　沖縄タイムス

池原、自己新で銀
砲丸投げ

砲丸投げの池原安栄(37)＝那覇市＝が今シーズンの自己ベスト11㍍33を出して、銀メダルを獲得した。

台風の影響で大会前の練習がほとんどできなかったといい、「調整がうまくいかなかったが、何とか2位に入ることができてよかった」と安堵（あんど）の表情。3投目、「きれいに指がかかって、しっかり砲丸に力が伝わった感覚があった」と振り返った。

10月16日　沖縄タイムス

ビーンバッグ投げで銀メダルを獲得した照屋和美

左足で勝負 応援に感謝

女子ビーンバッグ投げで照屋和美(45)が3㍍43で銀メダルを獲得し、「支えてくれたボランティアやチームメンバーの応援のおかげ。うれしい」と喜んだ。

四肢にまひがあり、車いすを利用している。症状が比較的軽い左足の指にはさんでバッグを投げるのが照屋のフォームだ。

1、2投目はタイミングが合わずに失敗に終わったが、3投目はきれいに前に飛び、記録を残した。「目標は5㍍だったが、緊張していた」と振り返った。

立ち幅跳びで金メダルに輝いた2001年の宮城県大会(第1回)以来の参加。数年前、足を使ってビーンバッグを投げる先輩の姿を見て「私にもできるかな」と競技を始めた。その左足を器用に動かし、書道や油絵をするほか、編み物もこなす。照屋は「今大会で、足で投げるのは私だけだった。全国に足を使って投げる選手がいたら試合をやってみたい。また参加したい」と話した。（石川亮太）

「身協だより」は、“赤い羽根共同募金”の一部助成を受けて発行しています。

秋風の中、観月会を盛大に開催

去る10月27日（土）、那覇市障がい者福祉センターのゲートボール場において、参加者240名のもと、観月会を開催しました。会は、障がい者福祉センターの三線教室の演奏で幕開けし、来賓の城間幹子那覇市長、翁長俊英那覇市議会議長から、ご祝辞をいただいた後、山城社会福祉協議会事務局長の乾杯により、参加者は歓談しながら、おいしいお弁当をいただき、舞台発表を楽しみました。幕開けに続き、障がい者福祉センターハーモニカ教室の演奏、末吉老人福祉センター民謡三線講座、沖縄県視覚障害福祉協会の三線同好会の演奏。ハーモニカと三線の音色は心地よい秋風にのって、会場に響きました。

また、リズム体操が始まると、舞台だけでなく参観者も一緒になって体操をし、盛り上がりました。

Ｂ・フレンズのオールディーズの演奏では、会場全体がノリノリのうちに、勇壮な松島青年会のエイサーで会を終えました。

障がい者福祉センター三線教室

障がい者福祉センターハーモニカ教室

末吉老人福祉センター民謡三線講座

障がい者福祉センターリズム体操教室

沖縄県視覚障害者福祉協会三線同好会

Ｂ・フレンズによるバンド演奏

松島青年会によるエイサー

「身協だより」は、“赤い羽根共同募金”の一部助成を受けて発行しています。

観月会へのご寄付・ご寄贈

次の方々からご寄付・ご寄贈をいただきました。皆さまどうもありがとうございました。
（敬称略・順不同）

★末吉老人福祉センター
★真嘉比自治会
★古島自治会
★松島小学校ＰＴＡ
★松島中学校ＰＴＡ
★松島中学校区青少年健全育成協議会
★那覇市青少年健全育成市民会議 広報部長
★社会福祉法人那覇市社会福祉協議会
★那覇市手をつなぐ育成会
★沖縄コカ・コーラボトリング（株）豊見城営業所
★（株）沖縄伊藤園 浦添支店
★（株）琉仁カスタマーサービス
★仲川 福俊
★福里 実

第17回（平成３０年度）那覇市障がい者美術展作品募集

毎年参観者からも多くの好評を得ている美術展
今年はどんな作品と出会えるのか楽しみです。
多くの皆さんから、作品をお待ちしています。

作品募集期間：平成30年12月3日(月)～平成31年1月31日(木)

作 品 部 門：絵画・陶芸・工芸・書道・写真（１人合わせて１点以内）

応 募 方 法：「出品申込書」を各所属団体（事業所）へ提出するか、下記運営事務局へ直接お申込み下さい。

（運営事務局）〒902－0061　那覇市古島2－14－4
一般社団法人 那覇市身体障害者福祉協会
ＴＥＬ　０９８－８８５－９４４４
ＦＡＸ　０９８－８８５－０４２０

第17回 那覇市障がい者美術展開催日

日　時：平成３１年３月１６日（金）～３月１８日（日）
午前１０時～午後６時
場　所：沖縄県立博物館・美術館　１階 県民ギャラリー
入場料：無料

「身協だより」は、“赤い羽根共同募金”の一部助成を受けて発行しています。

みんなでピクニックへGO！

毎年、好例となった、ピクニック。
今年もみかん狩りを予定しています。
寒い時期ではありますが、もぎたてのみかんを食べて、風邪対策をしましょう。
また、道の駅での買い物やおいしいお弁当も用意しています。
多くの会員のお申込みをお待ちしております。

先着 80 名
限定

日　　時：平成３１年１月１３日（日）
　　集合 午前８時５０分　　出発 午前９時
会　　費：会員 2,000 円　非会員 3,000 円（会費納入のない方）
申込締切：平成３０年１２月２８日（金）
申込み先：那覇市身体障害者福祉協会
　　ＴＥＬ＆ＦＡＸ　０９８－８８５－０４２０

編集後記

私は、今年１２月で満６５才になります。高校時代は、ワンダーフォーゲル部の主将を務め、やんばるや久米島・八重山・西表等をキャンプしながら歩き回っていました。大学２年２０才の時に、バイトで貯めた３万円を片手に日本縦断の放浪の旅に出かけました。４５年前のことですが、記憶を思い起しながら、記してみました。

総務広報委員長　知念　博

会費納入のお知らせ

当協会は、会員お一人おひとりからいただく年会費1,500円で会を運営しております。会費の納入は、同封の振込用紙で、お近くの琉銀・沖銀（青い振込用紙）、または郵便局（赤い振込用紙）のどちらかでお支払い下さい。なお、すでに納入済みの方で振込用紙が入っている方は行き違いかと存じますのでご容赦下さいますようお願い申し上げます。

正会員：那覇市に在住する身体障害者 ・・・1,500円
賛助会員：当協会の活動に賛同する者
・・・１口　1,500円

「身協だより」は、“赤い羽根共同募金”の一部助成を受けて発行しています。